

日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同  
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会  
老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する  
検討小委員会（第24期・第6回）議事録

1. 日時 令和元年12月3日（火）15:00～17:00
2. 会場 日本学術会議5階 5-C(2) 会議室
3. 出席委員 岸田伸幸 高木和広 古崎新太郎 松岡猛 水野光一  
山内博 山口芳裕 横田真 （50音順）

4. 議事要旨

藤原委員長が体調不良で欠席のため、横田副委員長が議長となり、定足数を満たしていることを確認して開会を宣した。

1) 前回議事録の確認（資料1）

第5回議事録（資料1）を学術会議事務局に提出したことが報告され、確認された。

2) 今回報告書表出の報告の件（資料2、3-1、3-2、3-3）

今期報告書に関する第三部会査読及び幹事会審議への対応と9月20日付で正式に承認・発表されたことについて、岸田幹事より説明があり、審議経緯について意見交換が行われた。

3) 今後の活動方針について（資料4、5-1、5-2）

まず古崎委員より資料4に基づき OACW 事業関連のデータベースの必要性について報告書をまとめることとしてはとの提言があった。続いて岸田幹事より OACW 事業関連の文献データベース検索結果（資料5-1、5-2）について説明があり、委員間で意見交換が行われた。主要な論点は以下のとおり。

「遺棄化学兵器」、「毒ガス」というキーワード検索で抽出される情報は、OACW 処理事業批判関連のマスコミ記事、OACW 被毒事故関連の学術論文などが主体となっている。なお、被毒事故に関する学術論文の一部については、執筆者達が十分な情報に触れられなかった可能性がある。

今後の老朽・遺棄化学兵器処理事業の円滑な推進のためには、これまでに実施された埋設地域周辺のヒ素汚染状況調査、ヒ素を含む廃棄物の最終処分、事業推進にあたっての周辺住民等への説明内容などの情報が有効と思われるが、国内処理関連でもアーカイブ情報としてアクセス可能な状況になっているものはほとんどない状況。一方、中国でこの手の情報収集を実施することは現在非常に難しい状況にある。まずは、国内でのヒ素処分関係知見を有する企業から現状を聞くのは有意義と思われる。

#### 4) その他

閉会時間となったので、次回会合日程は後日調整ということで議長が閉会を宣した。  
以上